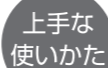




注意

- 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故の原因)
- ペグで地面に固定する。(テント・タープが風で飛ばされ、けがの原因)

- ランタンは電池式以外は使用しない。(不完全燃焼による事故の原因)
- 強風時は、ランタンを吊さない。(落下によるけがの原因)



上手な
使いかた

- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。

- ランタンハンドルの形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合もあります。



設営・取扱説明書

当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。



部品構成表

()は素材

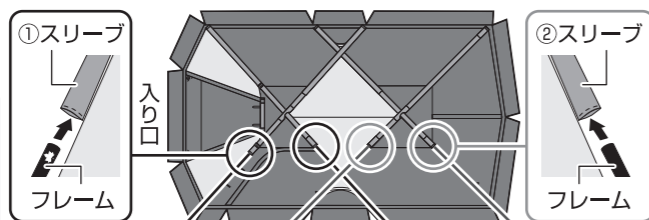
フライシート×1 (ポリエステル)	インナーテント×1 (ポリエステル)	インナー側フレーム【銀】×2 (アルミ) (11節)	リビング側フレーム【銀】×2 (メイプルリーフ有) (アルミ) (13節)
リッジフレーム【銀】×1 (アルミ) (6節)コの字型	ペグ×16 (スチール)	ロープ×4 (PP) ※一部装着済	

設営方法

- 設営は2人以上で行ってください。
- 風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。

1 フライシートを広げて、フレームをスリーブに押し込む

すべてのフレームを連結して組み立てる。



Point

- 入り口が風下になるようにしてください。
- フレームは引っ張ると、連結部が外れるため必ず押し込んでください。

- ①入り口からみて、右側からリビング側フレーム(メイプルリーフ有)を差し込む。(2本)
- ②入り口からみて、右側からインナー側フレームを差し込む。(2本)

2 フライシートを持ち上げながらフレーム先端にリングピンを差し込む

インナー側フレームが固定され、立体的になったらリビング側フレーム先端にリングピンを差し込む。

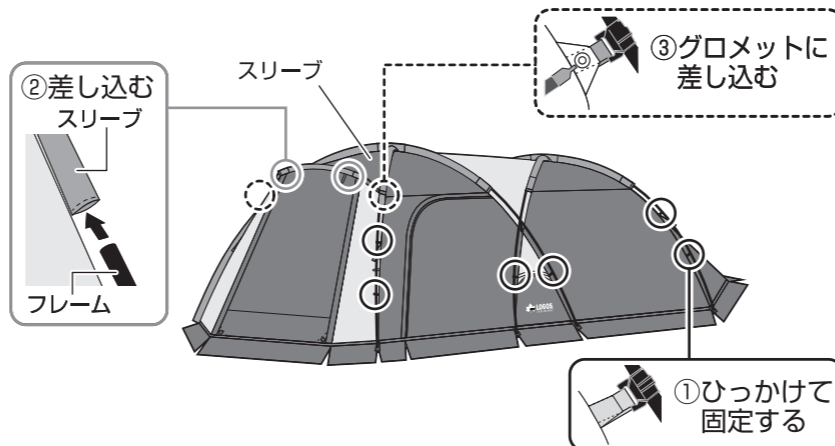
Point

- 風が強いときは、風上側をペグで軽く固定すると設営しやすくなります。



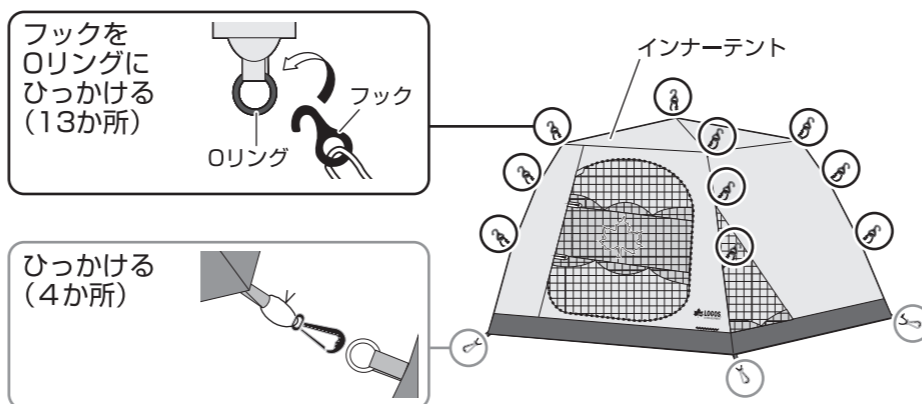
3 リッジフレームを固定する

- フックをフレームにひっかけて固定する。
- リッジフレームをスリーブに差し込む。
- リッジフレーム(コの字)の先端をグロメットに差し込む。



4 インナーテントを吊り下げる

- 入り口をリビング側に向ける。
- 奥から手前の順で固定する。



5 ペグで地面に固定する

ペグは14か所打ち込む。

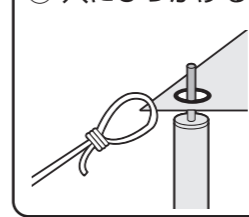


たるみがないようにする。
(テントが風で飛ばされ、けがの原因)

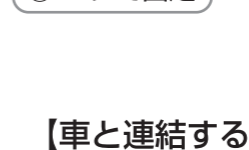


■ 入り口の固定のしかた 【キャンピーポール(別売品)を使用する場合】

① 穴にひっかける



② ペグで固定



【車と連結する場合】

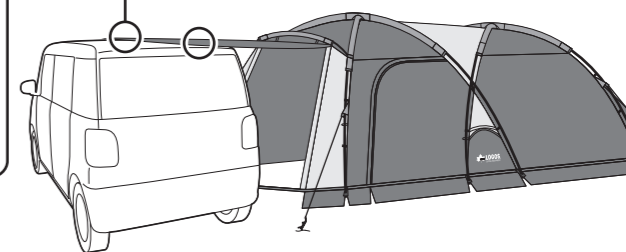
- ①取り付け場所が凹凸のない面か確認する。
- ②砂やホコリを布で拭き取る。
- ③吸盤を取り付ける。
- ④車を移動して、ゴムリングにひっかける。

吸盤取り付け方法



取り付けの際は、車体に傷を付けないように十分にご注意ください。

カーセット用
ジョイント(2pcs)
No.71996518
(別売品)



廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。

Designed by
LOGOS CORPORATION

発売元:
株式会社 ロゴスコーポレーション

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13
お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

■ホームページ / www.logos.ne.jp
■全国キャンプ場の空き情報 / www.campjo.com